

平成18年10月13日

各 位

会社名 住友不動産株式会社  
代表者名 取締役社長 高島 準司  
(コード8830 東証・大証各第一部)  
問合せ先 広報部長 若山 公一  
(03-3346-1042)

債権の取立不能又は取立遅延のおそれ等に関するお知らせ

当社連結子会社において、取引先に対する債権に関し、別紙開示資料のとおり取立不能又は取立遅延のおそれが発生しましたのでお知らせいたします。また、当該子会社が業績予想を修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 当該子会社の名称等

- (1) 商 号 住友不動産販売株式会社 (コード8870)
- (2) 本店所在地 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号
- (3) 代 表 者 取締役社長 岩井 重人

2. 今後の見通し

貸倒引当金繰入額 2,826 百万円を、当中間期の当社連結損益において特別損失に計上いたします。当該子会社の業績予想の修正に関しましては、別紙開示資料をご覧ください。

なお、当該特別損失が当社連結業績に与える影響は軽微であり、平成18年8月3日公表の平成19年3月期当社連結業績予想に変更はありません。

以 上



平成18年10月13日

各 位

会 社 名 住友不動産販売株式会社  
代表者名 取締役社長 岩井 重人  
(コード番号 8870 東証第一部)  
問合せ先 取締役 企画本部長  
荒井 宏  
(TEL. 03-3346-1021)

### 債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ

当社の取引先である株式会社東栄が、平成18年10月13日に東京地方裁判所から民事再生手続開始の決定を受けたことに伴い、下記のとおり同社に対する債権について取立不能又は取立遅延のおそれが生じたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当該取引先の概要

- |            |                  |
|------------|------------------|
| (1) 商号     | 株式会社東栄           |
| (2) 所在地    | 埼玉県所沢市大字上安松486番地 |
| (3) 代表者の氏名 | 武藤 力夫            |
| (4) 資本金    | 48百万円            |
| (5) 事業の内容  | 不動産業             |

#### 2. 当該取引先に対する債権の種類及び金額

営業貸付金 11,564百万円 (平成18年10月12日現在)

#### 3. 今後の見通し

当該債権額のうち、特定価格で評価し直した担保で保全されていない回収不能見込額4,953百万円から、過年度に引当済である貸倒引当金を差し引いた2,826百万円については、当中間期において全額を貸倒引当金繰入額として特別損失に計上いたします。

なお、業績予想の修正については、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上



平成18年10月13日

各 位

会社名 住友不動産販売株式会社  
代表者名 取締役社長 岩井 重人  
(コード番号 8870 東証第一部)  
問合せ先 取締役 企画本部長  
荒井 宏  
(TEL. 03-3346-1021)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成18年5月12日の決算発表時に公表した平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の中間期及び通期の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

##### (1) 連結業績予想

- ・当中間期の連結業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	28,000	6,700	3,900
今回修正予想 (B)	32,000	9,300	3,800
増減額 (B - A)	4,000	2,600	△100
増減率	14.3%	38.8%	△2.6%
(ご参考) 前中間期実績	26,002	5,681	3,411

- ・当期の連結業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	64,000	17,000	10,000
今回修正予想 (B)	69,000	20,000	10,100
増減額 (B - A)	5,000	3,000	100
増減率	7.8%	17.6%	1.0%
(ご参考) 前期実績	59,049	15,170	9,001

## (2) 個別業績予想

- ・当中間期の業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	25,000	6,000	3,500
今回修正予想 (B)	26,500	7,600	2,800
増減額 (B - A)	1,500	1,600	△700
増減率	6.0%	26.7%	△20.0%
(ご参考) 前中間期実績	22,828	5,110	3,087

- ・当期の業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	57,000	15,300	8,900
今回修正予想 (B)	58,500	17,400	8,500
増減額 (B - A)	1,500	2,100	△400
増減率	2.6%	13.7%	△4.5%
(ご参考) 前期実績	52,948	13,859	8,221

## 2. 修正の理由

### (1) 連結業績予想

当中間期において、当社グループの主力業務である仲介業務のリテール部門が、取扱件数の堅調な増加と1件当たり取扱価格の顕著な上昇によって好調に推移するとともに、不動産販売業務や仲介業務のホールセール部門も拡大するため、営業収益及び経常利益は前回予想を上回る見込みとなりました。しかしながら、本日発表の「債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」のとおり、当中間期に2,826百万円を特別損失に計上するため、中間純利益については前回予想を若干下回る見込みであります。

なお、当期（通期）は、当中間期同様、特別損失を計上するものの、仲介業務を中心として順調に推移するものと予想しているため、営業収益、経常利益並びに当期純利益とも前回予想を上方修正いたします。

### (2) 個別業績予想

連結業績予想とほぼ同様の理由により修正いたします。

以上